

平成31年度医学科学士入学（3年次編入学）試験問題
外国語(英語)（解答及び出題意図）
＜医学部医学科＞

【出題意図】

最新の医学情報を得るためには、和訳されていない教科書や国際誌を読んで情報を得なければならない。そのためには、英語による文章の内容を正確に理解するとともに、自らの考えを英語に表記して発信することも必要である。

この観点から、

- 1) 英語で記載された概念的な内容を正確に理解すること
 - 2) 図や表で表わされた結果を正確に把握すること
- 上記 1) 2) の能力を評価することを出題の意図とした。

問題1—3は、医学関連の成書、雑誌から、問題枠引用し、概念的な内容を正確に理解できるかということの評価した。文法上の定型句が理解できること、日本語には少ない英語特有の表現を理解できること、そして、理解した内容を簡潔にまとめることができること、などの総合的な能力についても同時に評価した。問題4は、医学的な内容をどのように表現するかということ、長い英作文を課すことで能力を正確に評価することを試みたものである。

【解答例】

問題1

問1 : A イ, B カ, C エ, D オ, E ア, F キ

問2 : a イ, b イ, c エ, d ウ, e エ, f ア

問3 : エ, オ

問4 : 戦後以来、英国の子供の体重における不均衡な状態は反転してしまっている。つまり社会経済的に恵まれない子供達は、初期の調査の頃は恵まれた環境の子供たちより痩せていたが、現在では、こうした子供たちは太りすぎていたり肥満の傾向があること。

問 5 : 肥満の問題と戦っている地域の人たち、特に社会経済的に低い環境に住んでいる、もしくは高い失業率や社会的貧困に苦しんでいる人たち

問 6 : models that have too little interest in equity

問題 2

問 1 : (出題意図)

この手順書を読んだ者が、この実験のおおまかな手順、留意すべき点が見つかるかどうかを評価する。日本語訳をすれば良いわけではない。手順が簡潔かつわかりやすく記載できているか、重要な数値を入れているか、実験する上で特に留意する点が正確に書かれているかがポイントとなる。

問 2 : 2620000

問 3 : (1) ~ (3) の記載順は問わない。

- (1) サンプル採取の際、細胞懸濁液をよく混ぜていない、懸濁液が不均一になっている、という意味のことを記載すること。
- (2) サンプルを血球計算盤に乗せる際、あふれさせない、入れすぎない、という意味のことを記載すること。
- (3) 細胞懸濁液中で細胞がばらばらになっていない、細胞塊を作っている、という意味のことを記載すること。

問題 3

問 1 : A ①, B ①, C ②, D ④

問 2 : 高齢がん患者は非高齢患者と比較して標準的ながん治療を受ける機会が少ない傾向にある。考えられる理由としては、毒性の増加、罹患率や死亡率に関する競合する因子、治療を受ける機会がないこと、医師あるいは患者の選択に関する懸念が挙げられる。

問 3 : このことは脆弱性と呼ばれ、特定の併存症がない場合にも患者の機能低下を招く。脆弱性は体重減少、消耗、虚弱、寝たきり、身体活動性の低下など多くの要素を含む。

問 4 : 脆弱と判断されたが、標準的な治療に忍容性があり治療の恩恵を受け
る可能性がある高齢者と、忍容性ありと判断されたが重篤な副作用が
出現し、治療計画を変更する必要性が生じる高齢者を見極める必要があ
る。

問題 4

(1)

Dear Dr. Ryan Priggles,

I am writing to you regarding the yearly meeting of the Japanese Medical Students Association in Izumo City on September 15-18, 2020. If you are available then, would you please consider being our keynote speaker? We would like to offer you \$1,000 for your keynote lecture and we will cover all your basic expenses. If you need anything special, we will consider it carefully.

Please let us know if our offer is reasonable and fits your schedule. Thank you.

Sincerely,

K. Tanaka

(2)

This chart deals with body weight, physical activity and life expectancy. Subjects were divided into four groups (normal weight, overweight, obese 1 and obese 2) and given guidelines that promoted physical activities. The subjects were then subdivided into those who met the guidelines, those who met 1/2 the guidelines and those who were inactive. The results showed that anyone who met the guidelines could expect to live longer while anyone who was inactive could expect a significant loss of years of life.